2022 年 10 月 31 日

報道関係各位

株式会社サンケイビル

CO2排出量削減　中長期目標を設定

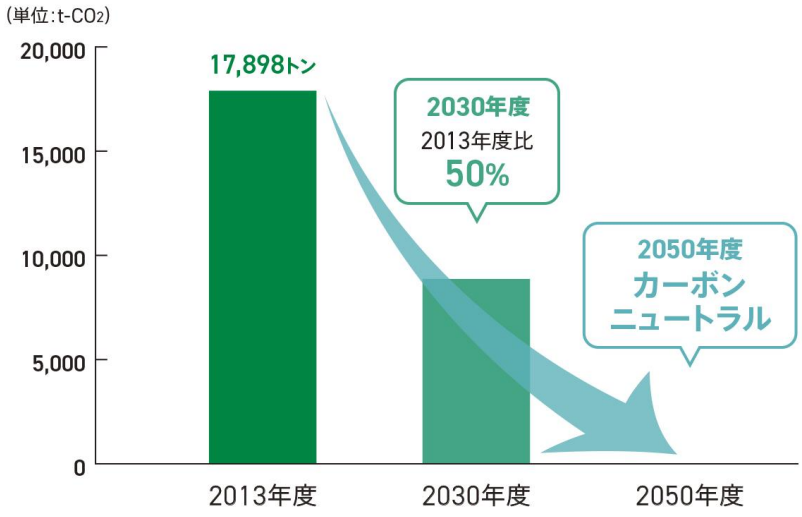
～CO2排出量を2030年度までに50%削減～

株式会社サンケイビル（本社：東京都千代田区大手町、代表取締役社長：飯島一暢、以下「当社」という）は、脱炭素社会の実現に向けて、2030 年度までに二酸化炭素排出量 50%削減を目指すことといたしました。

<u>サンケイビルの CO2 排出量削減 中長期目標</u>

CO2 排出量を 2030 年度までに 50%削減（2013 年度比）

近年、気候変動に関する国際的な取り組みの「パリ協定」や 2020 年 10 月に日本政府が発表した「2050 年カーボンニュートラル宣言」により、環境に対する取り組みの重要性が高まっています。こうした流れを受け、当社においても、2050 年までのカーボンニュートラル実現に向け、CO2 排出量削減中長期目標を定めることいたしました。今後も、サステナブルな社会の実現に取り組んでまいります。



■中長期目標を達成するための具体的な取り組み

2030 年度までに CARBON HALF の実現をするため、環境認証取得物件の開発を推進してまいります。また、新規開発案件に留まらず、既存ビルの LED 化、熱源改修計画などの省エネにも取り組みます。さらに、物流施設等新規開発物件へ太陽光パネルを設置し、自家消費を実施することで創エネに取り組んでまいります。

■参考：CO2 排出量削減に対する取り組み

・本町サンケイビル

ヒートアイランド現象を抑制し、空冷式と比べてエネルギー消費率の高い熱源システムの導入やオフィス内の快適性と省 Co2 を両立する空調換気システム等を導入することで、国土交通省より省 CO2 の実現性に優れたリーディングプロジェクトとして「サステナブル建築物等先導事業（省 CO2 先導型）」に採択されています。さらに、レイアウトの柔軟性や断熱性・温熱快適性を確保している「健康性・快適性」、バリアフリー法認定を取得し、多様な人材が利用しやすい環境を構築している「利便性」、制震・制振による高い構造安全性や災害時エネルギー供給対応等のビルの「安全・安心性」等が評価され、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構（IBEC）による「CASBEE-SWO（スマートウェルネスオフィス）認証制度」において、最高評価である S ランクを取得しています。

・SANKEILOGI 厚木

自家消費型太陽光発電システムを屋上に実装し、2022 年 8 月に建築物省エネルギー性能表示制度「BELS」で最高ランクの 5 つ星及び、「Nearly ZEB」を取得しました。「SANKEILOGI 柏」「SANKEILOGI 摂津」においても自家消費型太陽光発電システムを採用しています。今後も、物流施設での環境エネルギー性能の向上を推進してまいります。

・Hareza（ハレザ）池袋

「Hareza 池袋」内のオフィスビル「Hareza Tower」では、LED 照明や明るさセンサー・人感センサーによる制御、高効率型空冷ヒートポンプパッケージの採用など汎用性が高い設備システムの導入に加え、事務所専用部における照明照度 500lx 器具の選定など適正な設計条件の検討等を行うことで、「ZEB Ready」認証を取得しました。本認証の取得は、超高層複合用途ビルにおいて、第一号案件となりました。さらに、株式会社日本政策投資銀行による 2019 年度版「DBJ Green Building 認証」において最高ランクの 5 つ星を取得したほか、建築環境総合性能評価システム「CASBEE」の「CASBEE-建築（新築）」において最高ランクの S ランクを取得しています。

■SDGs（持続可能な開発目標）への貢献

私達は今後もひとつひとつ丁寧な開発を行い、都市に暮らす人々の生活利便性や、働き方・暮らし方の多様性に応えるために、時代に合わせた建物を提供することで、人々が安心して働けるまちづくりに取り組み、社会貢献を意識した開発に取り組んでまいります。

＜リリースに関するお問い合わせ先＞
株式会社サンケイビル　広報課
TEL：03-5542-1313
FAX：03-5542-1377

＜CO2 排出量削減 中長期目標に関するお問い合わせ先＞
株式会社サンケイビル　経営管理部
TEL：03-5542-1349
FAX：03-5542-1377